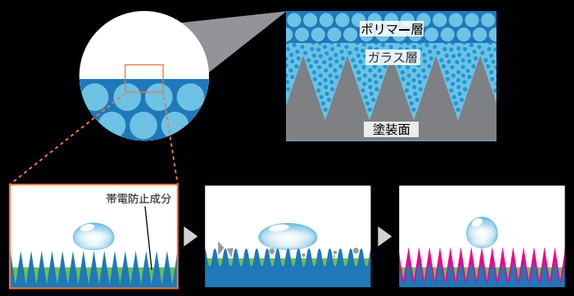
コーティング後の定期メンテナンス



施工直後
良質な撥水基で撥水する様子

風雨で劣化
汚れ付着と撥水基の劣化

定期メンテ後
撥水基の成長で強い撥水

愛車の美しさを長期間維持するには、定期的なメンテナンスが不可欠です。

撥水が弱まったり表面がざらついた場合は、メンテナンスのサインです。
ポリマーコートは塗装を守る盾となり、洗車時に塗布すると撥水性と艶を持続させます。
できれば洗車毎に、ポリマーコーティングスプレーを拭き上げ時に併用し、撥水と防汚効果を高めましょう。

レオコートのポリマーは油脂分不使用で撥水基のみで機能します。
重ね塗りするほど効果が増し、持続性も向上します。一方の油脂系コーティングは撥水力は強いものの酸化し易く、塗装に油脂が付着するリスクがあります。

レオコートポリマーコーティングスプレーは、滑らかなコート層を形成し、塗装を傷めずに美しさを保つ最適な製品です。

メンテポリマースプレー

メンテナンスについて詳しく

注意事項と応急処置対応方法

＜一般注意事項＞・医学的な助言が必要な時は、製品容器やラベルを医師に提示すること。・子供の手の届かない所に保存すること。・使用前にラベルをよく読むこと。
＜安全対策＞・使用前に取扱説明書をよくお読みください。・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・この製品を使用する時、飲食または喫煙をしないこと。・眼、皮膚、衣類につけないこと。・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。・取扱い後は手をよく洗うこと。
＜応急処置＞・飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに水で口の中をすすぎ、ただちに医師の診断を受けること。・吸引した場合は、空気の新鮮な場所に移り安静にすること。気分が悪いときは、医師の診断を受けること。・眼に入った場合は、直ちに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。・異常がある場合は医師の診断を受けること。・皮膚（又は毛髪）に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を石鹸で洗うこと。刺激が生じた場合は、医師の相談を受けること。・流出した場合はできるだけ回収し、残留物は水で流すこと。
＜保管＞・子供の手の届かないところに施錠して保管すること。・容器を密閉して涼しく換気の良い所に保管すること。・直射日光に当たる所、温度が４０℃以上又は０℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けて保管すること。・横に倒して保管しないこと。・車載保管はしないこと。・取扱説明書は使い終わるまで参照できる様に保管をお願いいたします。
＜廃棄＞・内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

【同梱品一覧】

ガラスコーティング剤	30ml
ポリマーコーティング剤	30ml
専用シャンプー	30ml
施工用両面スポンジ	2個
粘土パフ	1個
クロス	1枚
取り扱い説明書	1冊

無料ハンドブックプレゼントはこちら

コーティングのプロとして、正しいガラスコーティングの知識をまとめました。
20年間の集大成、1万5千文字以上の大ボリューム！ディーラーコーティングの闇から、ガラスコーティングの基礎知識、楽に綺麗を維持する方法まで！世界中の乗り物を美しくしてオーナーをハッピーにする一冊です。

LEO COAT
SUPER GLASS COATING

Leocoat.com

- ▶ 専門店の高品質な施工をお得に
- ▶ ２層コートでこの上ない光沢を
- ▶ 静電気抑制で汚れの吸着を激減
- ▶ 速硬化30分で雨天走行まで可能
- ▶ 公的機関で科学的な性能を実証

ガラスコート剤：
0.00001mm=10nm のナノガラスが、イオン結合で吸着、浸透し、アンカー効果で塗装表面の硬度を増幅させることで、塗装を守ります。透明なナノガラス (Si) で、塗装本来の色を維持させ、透き通るような光沢を与え、そのガラス表面を網状のセルロースで保護させることで、ガラスコーティング層を保護します。実用硬度は、工業試験場のスクラッチテストで実証済みで、自動洗車機を使用しても傷のつきにくい高い硬度と、透き通るような美しい光沢を実現します。

ポリマーコート剤：
帯電防止効果の高いナノポリマーを主成分とすることで、ウォータースポットの発生要因の一つである、ゴミや、埃の付着を低減します。未施工と比較すると 1.94 倍早いスピードで電圧を逃がす効果を確認しました。レースカーでの実証実験では、タイヤカス、ブレーキダストの付着が激減。仕上がりも、撥水であるにもかかわらず、滑らかな手触りを実現しています。愛車の艶やかな驚きの肌触りを体感して下さい。

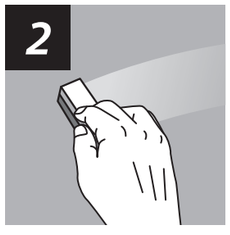
施工前に確認してください

・炎天下での施工は避けてください。
・使用する全ての道具に砂などが付着していないか確認して下さい。
　施工時に引きずって傷の原因となる場合があります。
・鉄粉などの汚れが確認できない場合は、2番の工程は省略して差し支えありません。

1

作業に入る前に通常の洗車を行ってください。ここで大きなほこりや、汚れを全て落として下さい。
見えない砂などが残っていると、施工時に引きずって傷の原因となる場合があります。

2



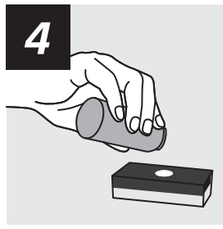
ボディに水分が残った状態で、水に浸した粘土バフに黄色ラベルの専用シャンプーを少量付け、優しく滑らせるように擦り、鉄粉などの汚れを取り除きます。都度、水を流して仕上げて下さい。

専用粘土バフ
（灰色側を使用します）

3

「金色のラベル」のガラスコーティング剤の瓶を手に取り、5秒程度よく振ります。

4



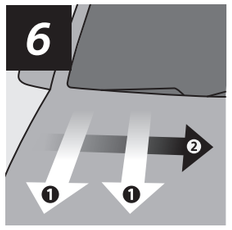
コーティング用両面スポンジの、黒い面にガラスコーティング剤を初回は３滴、以降は２滴付けます。
施工しにくいと感じられる場合は、上記よりも多く液剤をつけて下さい。

コーティング用両面スポンジ

5

コーティング剤が可能な限り均一になるように伸ばします。
ムラができても気にせず作業を行って下さい。塗りムラは7番の工程で解消できます。
この作業時に、若干ボディが濡れていても問題ありません。

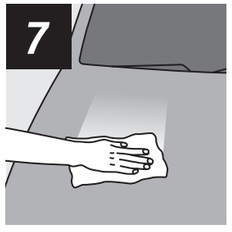
6



縦方向に塗ってから、横方向に伸ばします。隙間をあけず薄く塗り広げる様にして下さい。

液剤が残った場合、密栓して直射日光に当たらない場所であればガラス・ポリマーコーティング剤ともに1年間保管可能です。再施工にご利用ください。

7

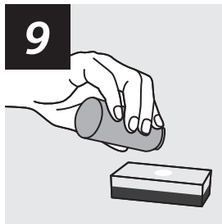


乾拭きで仕上げて下さい。
ムラが解消しにくい場合は、クロスを濡らして拭き上げるか、水で軽く流して再度乾拭きしてください。

8

7番の工程から30分程度時間をあけて、「銀色のラベル」のポリマーコーティング剤の瓶を手に取り5秒程度よく振ります。

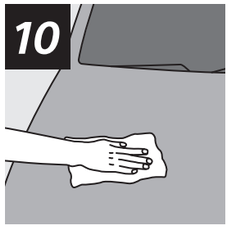
9



「銀色ラベル」のポリマーコーティング剤を、コーティング用両面スポンジの白い面につけ、ガラスコーティングと同様に作業を行ってください。

コーティング用両面スポンジ

10



拭き上げ用クロスで、丁寧に拭き上げてください。
ムラが解消しにくい場合は、クロスを濡らして拭き上げるか、水で軽く流して再度乾拭きしてください。

11

ボディー・ガラス面・樹脂・メッキ部分・内装などにも幅広く、ご使用いただけます。

施工後について

施工後のメンテナンスは裏面をご覧下さい。
コーティングは重ねがけすると、より効果が高まります。
初回施工後、２日以上あけて頂き、通常の洗車後、金のガラスコーティング、銀のポリマーコーティング剤の順で施工します。
また、コーティング用スポンジは、使用後に流水で洗って頂ければ再利用可能です。